

まちの応援マガジン いなわしる

広報 猪苗代

Apr.2011

4

No.606

特集

3・11
14:46

東日本に甚大な被害を与えた大震災。
震度6弱という強い揺れが、
この町にも大きな爪痕を残した。
写真は道路の中央が裂けた町道東谷地八幡線。

Proud!
Japan

東日本人の団員を支援しよう

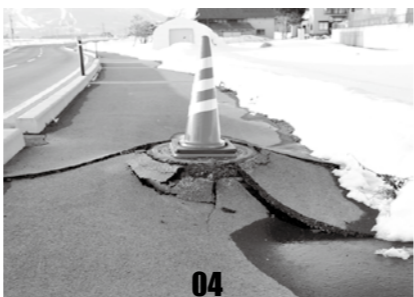
Proud! Japan 運動は
「厳しい状況の中でも他人を気遣い、助け
合う被災地の皆さんや命を賭して救援活動
に励む自衛隊員や消防士の皆さんは日本の
誇り。だからみんなが応援しています」
というエールを日本全国から被災地に送
り、復興の力にしてもらおうと静岡県の広
報担当者が中心になって始めた運動です。

3月11日午後2時46分、
震度6弱という強い揺れが本町を襲った。
東北地方の太平洋沿岸部を中心に
日本中に甚大な被害をもたらしている東日本大震災。
予想を超える災害に対処し、生き残るために
わたしたちにはどんな備えや心構えが必要か
被災中の今だからこそ考えたい。

特集

3・11
14:46

このたびの東日本大震災で亡くなられた皆さまのご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。



- 01_ 倉庫の屋根が崩落し、大きな被害を受けた阿部畳店（四ツ谷）
02_ 道路は波打ち、片側は完全に崩壊。現在も片側交互通行の状態が続いている国道459号線。
03_ 完全に倒壊した曲淵地区の土蔵
04_ 下水道のマンホールが隆起してしまった県道壺楊本町線の一角。今回の震災では月輪地区で同様の被害が多かった



東日本大震災による本町の被害状況

区分	被害状況	件数
負傷者	買い物中に商品が落下し、頭に軽傷	1
住家全壊	住宅が倒壊、全体的に傾斜するなど	4
住家半壊	壁などの崩落、住宅のゆがみや配管の損傷など	10
非住家全壊	土蔵や倉庫などの倒壊、ブロック塀や石塀の倒壊など	22
非住家半壊	土蔵や倉庫の壁や天井の崩落、塀の半分程度が倒壊	33
一部損壊	住宅の一部が損壊（ガラスが割れた程度は除く）	118
道路破損	町内各地の道路で崩落、ひび割れや段差など	調査中
上水道・下水道	町内の一部で断水、水道管破損、マンホール隆起など	56
電力柱など	町内各地で電力柱が傾斜、陥没するなど	多数

国内観測史上最大 M（マグニチュード）9.0

政府はこの地震を「東日本大震災」と命名した。震源は牡鹿半島の東南東約130キロ付近で、深さは約24キロ。地震のエネルギーを表すマグニチュード（以下M）は9.0を記録、震源域は岩手県沖から茨城県沖まで南北約500キロ、東西約200キロの広範囲に及んだ。

M9.0は、関東大震災（M7.9）や北海道東方沖地震（M8.2）を上回る日本国内観測史上最大の規模で、95年に発生した阪神・淡路大震災の千倍以上のエネルギーだといわれている。アメリカ地質調査所の情報によれば、1900年以降に発生した世界の地震の中でも4番目の規模で、超巨大地震に位置付けられている。

この桁外れのエネルギーは、地震後、10メートル以上の大津波となって東日本の広い範囲を襲い、太平洋沿岸部の市町村では、多くの尊い命と財産が一瞬にして奪われた。

また、この津波で東京電力福島第一原子力発電所が被災。1号機・2号機などが電源喪失状態となり、冷却機能を喪失。この一連の事故によって、第一原

突然本町を襲った 震度6弱の脅威

「いつもの地震とは違う」誰もがそう思った。家や商店がミシミシと音を立てて揺れ、道路が波打った。立っていられないほどの激しい揺れは2分以上も続いた。その後も絶え間なく余震が続き、町全体が異様な緊張感に包まれていた。

町内各地で住宅、商店や土蔵などが損壊し、道路は破損、上下水道施設も損傷を受けた。停電、断水や通行止めなど、各地でライフラインが寸断された上、電話や携帯電話も通じにくくなるなど、情報の収集にも支障が出た。

また、震災によって輸送網が寸断されたことで、ガソリンや灯油も入手が困難になった。さらに商店、スーパーやコンビニエンスストアには商品が届かず、陳列棚からは商品が消えた。自宅が被害を受けた人やその危険がある人は、避難所に避難した。車の中で不安な夜を過ごした人もいた。

「いつもと違った」のは、地震の規模だけではない。地震後の生活や見慣れた風景など、ありとあらゆるものがこの大震災によって変わってしまった。

発からは放射性物質が検出された。第一原発から半径20キロ、第二原発から半径10キロ圏内の住民に避難指示が出され、住民が県内外に避難した。半径30キロ圏内の住民には屋内退避指示が出されたが、3月25日、自主避難指示に変更されている。

第一原発からの電力供給が停止し、電力不足となった関東・東海地方では、計画停電が実施されるなど、震災の影響は日本全国に及んでいる。

一刻も早い復旧と 風評被害の解消を

現在、本町では、被害が大きかった道路や上下水道施設などの復旧作業が続いている。しかし、第一原発の事故で風評被害が長期化すれば、農業と観光の町である本町は、さらに大きな被害を受ける可能性もある。

町災害対策本部の渡部大助総務課長は「土木、上下水道関係の被害額は現在調査中だが、風評被害の額は簡単に算出できるものではない。県の調査で本町の安全が証明され、一刻も早く風評被害が解消されるように働きかけ、町民の生活を守りたい」と力強く話した。

巨大地震発生。その後、この町では

発揮された地域のチカラ

地震の発生後、町には災害対策本部が設置され、情報の収集、伝達と今後の対応の協議が始まった。被災現場の確認やその対応のため、職員は東奔西走。その中で、同じように活動する町民の姿にたびたび出会った。

段差や陥没など、危険が生じ通行止めになった道路に立ち、車を誘導していたのは建設会社の社員だった。被災現場の情報を収集しながら、地区住民に広報活動をする消防団員も、休むことなく活動していた。避難所の炊き出しのおにぎりには、被災者の安否を気遣う町婦人消防連絡協議会の思いが込められていた。各行政区長には、地区住民の安否確認、避難所の案内や

地区内の被災状況の把握などをお願いしたが、すでに行動を開始している区長たちも数多くいた。町が設置した避難所のほか、自主的に集会所などに避難した地区もあるなど、町民一人一人が冷静な判断をし、協力し合った。

その結果、町の人的被害は死者0人、地震発生時の軽傷者1人にとどまり、二次的な被害は発生しなかった。

寄せられる善意のチカラ

東日本大震災のニュースは、瞬く間に全国に広まった。

地震の翌日、本町の窮状を知った三島町から、産業建設課の秦一夫さん、五十嵐義幸さん、黒澤寿樹さんの3人が給水車で応援に駆け付けた。避難所の緑小学校と補給場所

INTERVIEW



猪苗代町消防団
第4分団長
獅戸 卯一 さん

今回の地震で緊急停車した磐越西線。電車に乗っていた人から「消防団が来てくれて安心した。非常に心強かった」と報告があった。現場に出動した獅戸分団長に、地震後の第4分団の活動について話を聞いた。

まず、今回の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。そして被災された方々にお見舞いを申し上げます。

私たちは、地震の後すぐにポンプ車に乗車し、地域の被害を確認していました。消防署から乗客の安否確認をしてほしいと指示があり、そちらに向かいました。

乗客の皆さんに声をかけて、具合の悪い人がいないかなどを確認しました。私たちの姿を見て安心してもらえたということは、消防

団員が信頼されている証です。これからも信頼される消防団でありたいと思います。

その後はグループ分けをして被害情報の収集や避難所の運営に協力しました。

電話がつながりにくいので、消防無線を使い、避難所と町本部の連絡係や物資の運搬などに当たりました。分団幹部や団員たちは、自分の家を後回しにして泊まり込みで活動するなど、しっかりと頑張ってくれました。

電話も通じず、道路状況も悪かった。そんな中で、いかに早く消防団員が集合するか、電話以外の連絡体制を確立するなど課題も見えました。

今後はそうした課題を解消し、より頼もしい消防団となるために、訓練を重ねたいと思います。



01_伊那市から届いた水や非常食などの救援物資を運び込む職員
02_避難所になった緑小学校の様子
03_地震の翌日、三島町から給水車が駆け付けた
04_避難所の炊き出しを準備する町婦人消防連絡協議会のメンバー
05_伊那市の職員が避難所であん汁を振る舞う



地域住民と消防団が連携を取り合い、安全確保に努める

川桁区長 長澤一夫 さん



震災後、川桁地区では余震に対する自主組織を立ち上げ、警戒を強めている

今回の地震では、消防団の素早い対応が目立ちました。私たちが動くより早く、被害を受けている建物がないかと区内を回り、家や施設などを点検してくれました。

その後、私たち区の役員と防災センターで合流し、一人暮らしの高齢者の安否を確認して回りました。一人でいるのが怖いと言う人を避難所の体育館まで送り、次の朝には自宅まで送り届けました。こうした災害時には、自分で自分の身を守るのはもちろん、家族、隣近所など地域みんなで助け合う事が大切です。情報の収集、スムーズな避難や救助には、地元消防団の力も欠かせません。今後も地域が一体となって、家族や地域住民を守るように備えたいと思います。

れないほどの支援をいただいているが、紹介は別の機会にさせていただくことにする。震災から数日が過ぎ、避難所でお手伝いがしたい、何か力になれることがないかなど、ボランティアの申し込みが殺到した。窓口となった町社会福祉協議会の調べでは、4月1日現在、ボランティアの登録人数は532人。これも大変心強い支援だ。

今回の震災のように、同時に広域的に被害が出た場合、物資の輸送に大きな影響が出る。これまでの災害では、2日もすれば県内の市町村や隣県から支援が届くと想定されていた。しかし、ここまで広域的な大規模災害になると、その常識が通用しないことが判明した。遠隔地からの支援や災害協定の有効性、その大切さをあらためて感じた。

避難所生活を乗り越える力

今回の震災で被害を受けた東京電力福島第一・第二原子力発電所。放射性物質が飛散するという事態に発展し、周辺市町村には、退避や自主避難の指示が出された。本町の避難所、カメリーナでも300人弱が避難生活を送っている。長期化する避難所生活を送る人たちに私たちは何ができるかもし、私たちが避難することになったとき、どんなことに気をつけなければいけないか



01

- 01_ 現在も200人以上が避難所生活を送っているカメリーナ
- 02_ 炊き出しのおにぎりを配るボランティア。避難所の運営は、皆さんの善意に支えられている
- 03_ 子どもたちが思い思いに遊ぶキッズルームは、子ども大人にもやさしい場所
- 04_ 猪苗代リゾートスキー場でスキーを楽しむ子どもたち
- 05_ カメリーナの2階が臨時的教室になった
- 06_ 京都から駆け付けた日赤の救護班。体調に不安を持つ避難者は医師と話をすることで、体だけではなく心もケアされている



02



03



04



05



06

避難所生活を支えるボランティアの実態

町内の避難所になっているカメリーナでは、震災で自宅を失った人や原発事故で自宅にいられなくなった人など、293人が避難所生活を送っている(4月1日現在)。

避難者受け入れのため、町が設置した避難所だが、その運営には、ボランティアの皆さんの力がなくてはならないものになっている。

ボランティアの受付業務に当たっているのは、町社会福祉協議会。4月1日現在、登録人数は、個人と企業を合わせて、532人になっている。

主な業務は、炊き出しの配布、救援物資など運搬、館内の掃除、キッズルームの運営などで、当日の活動内容や必要人数などに合わせてボランティアをお願いしている。

子どもたちに笑顔を保つボランティアの活動

キッズルームを担当する橋口直幸さんは、この部屋を利用することで、親と子どもの両方のストレスが軽減される

と話す。「親は少し子どもと離れることでゆっくり考えたり、休んだりする時間を作れます。子どもたちは、たくさん遊ぶことでお腹も減るし、夜もぐっすり眠れます。避難所の子育て支援ですね」と笑顔で話した。

子どもたちには、本町ならではのプレゼントも贈られた。猪苗代リゾートホテルは、避難所で運動不足がちな子どもたちを、スキーに招待した。3月24日、フォーチュンスポーツ少年団と猪苗代リゾートスキースクールのインストラクターの指導の下、子どもたちは元気いっぱいにスキーを楽しんだ。

遊ぶことも大切だが、被災するまで学校に通っていた子どもたちには、勉強に対する不安もある。こうした不安を少しでも解消しようと、カメリーナの2階に臨時的教室が作られた。

町内の学校が教材など用意し、避難していた先生、育児休業中の先生や町内の小・中学校の先生などが指導に当たった。参加した小・中・高校生の約40人は、困難の中でも、学ぶ楽しさを忘れずに勉強に取り組んでいた。

3月24日から31日にかけて

自分が避難するとき気をつけるポイント

今回の地震では、本町のライフラインが復旧するまで、さほど時間はかからなかった。しかし、電気や水道などが壊滅的な被害を受けた場合、私たちも避難所での生活を余儀なくされる。

長期間の共同生活は、精神的なストレスになる。また、十分な睡眠や食事がとれずに、体力が低下するなど体調を崩しやすいもの。うがいと手洗いの徹底で、感染症などを予防することが必要だ。断水などで水が十分でない場合、マスクをつけるだけでも感染

開かれたこの教室には、ボランティアの猪高生も参加。小学生や中学生に勉強を教える姿が見られた。

お年寄りには安心を日赤は救護所を開設

日本赤十字社京都府支部からは、美濃秀隆(みねひでたか)参事をリーダーとした救護班8人が来町し、カメリーナで無料診療を実施している。長期間の避難所生活はストレスも多く、体調を崩す人も少なくない。1日平均で30人程度が救護所を訪れている。

乾啓子(けんけいこ)看護師は「避難所で多いのは風邪です。生活のパターンが崩れたせいで体が弱っている、どうしても体調を崩しやすくなります。感染症などである場合、感染が広がってしまうことも考えられるので、早めに受診することが大切です。水分もこまめに取るようにして下さい」と話した。

カメリーナでは順番で洗濯ができるほか、町内のホテルや温泉施設などを利用した入浴サービスも提供されており、お年寄りだけでなく、すべての皆さんに好評を得ている。

予防になる。自分のためだけではなく、周りの人のためにも対策を講じてほしい。

また、地震災害後は、精神的なショックからPTSD(心的外傷後ストレス障害)を発症しやすいというデータがある。特に、小さい子どもの場合には「大人と一緒にいれば大丈夫」と不安を取り除く心のケアが求められる。

カメリーナで活動する多くのボランティアがそうであるように、みんなが誰かの力になりたいと思っている。誰も一人ではない。みんなで協力し合い、支え合えば、きっと困難を乗り越えることができる。そのことを忘れずに生活することが重要だ。

二次災害から 生活を守れ

東日本の広い範囲で起こった巨大地震。太平洋沿岸部の市町村を襲った大津波。そして今、県内は目に見えない脅威に晒されている。放射能汚染という風評被害。その未曾有の危機から、この町を、町民の生活を守る

福島第一原発関係 事故経過

- (第2週まで)
- 3月11日 14時46分 三陸沖でM9.0の大地震が発生。
 - 同日 19時03分 原子力緊急事態宣言を発表
 - 12日 5時44分 10km圏内の住民に避難指示
 - 12日 15時36分ごろ 1号機建屋で水素爆発が発生。
 - 12日 18時25分 避難指示が半径20[※]の圏内に拡大
福島第二原発に対して、半径10[※]の範囲で避難指示
 - 3月14日 11時01分 3号機の建屋でも水素爆発
 - 3月15日 6時10分、2号機で爆発音、圧力抑制プールの圧力が低下し、破損の恐れ
 - 3月16日 5時45分
4号機建屋でも爆発が発生、建屋が損傷。火災発生。
8時30分ごろ、3号機からも白い煙が発生
 - 3月17日 11時
半径20[※]から30[※]の圏内の住民に屋内退避指示
 - 3月23日 東京都葛飾区の新井町浄水場で前日採水したサンプルから、乳児に対する暫定基準値を上回る210ベクレルのヨウ素131を検出。乳児の水道水の摂取を控えるよう呼びかけた
 - 3月24日 3号機タービン建屋で作業中の東京電力の協力企業社員3人が被曝
 - 3月25日 1号機南放水口付近で採水した海水から、規制限度の1250倍のヨウ素131を検出。20~30[※]の圏内の住民に対して、自主避難を要請

定規制値とし、規制値を上回る食品が販売されないように対応することとして、各自治体に通知した。

県が実施した検査で、県内の原乳や水道水などから暫定規制値を超えるヨウ素などが検出され、一部の地域・品目で出荷制限や飲用制限などの措置が取られた。

町内の水源はほぼ地下水で、その水からヨウ素は検出されなかった。農作物では、町内産のホウレンソウから微量が(ヨウ素180ベクレル、セシウム11ベクレル(以下Bq/Kg))検出されたが、暫定規制値(ヨウ素2000Bq/Kg以上、セシウム500Bq/Kg)を大きく下回るものであり、食用にはまったく問題

がないことが証明された。

このように、全く問題がない数値であるにもかかわらず、風評により被害を受けることがあつてはならない。本町では、県の検査結果などをホームページ上で公開するほか、今後も風評被害の解消に全力で取り組んでいく方針だ。

【用語解説】

※シーベルト(Sv/h)
放射線の吸収線量の強さを表すグレイに放射線の種類の違いによる生体への影響を加味して係数を掛け合わせた単位
※ベクレル(Bq/Kg)
放射能の量を表す単位

放射線量の目安 (単位: μ Sv/h)

10,000	ブラジル、ガラパゴスの自然放射線量
6,900	CTスキャン1回分
2,400	1人あたりの自然放射線量 (世界平均)
600	胃のX線健診1回分
50	胸のX線健診1回分

- 放射線に関する問い合わせ専用電話
☎ 024-521-8127 (24時間受付)
- 健康相談ホットライン
(放射線に関する健康相談)
☎ 0120-755-199
- 被ばく医療健康相談ホットライン
(具体的な除染方法などの相談)
☎ 090-5582-3521 090-4836-9386
080-2078-3308
- 原子力災害全般に関する問い合わせ窓口
☎ 03-3501-1505 03-3501-5890

M9.0という激しい地震と高さ10m以上の大津波。その想定外のパワーが、東京電力福島第一原子力発電所を襲った。施設を制御する機能を失った第一原発は、爆発などを繰り返し、放射性物質を飛散させるに至った。

この事故により、飯館村などの近隣市町村では、空気、水や土壌などから高い放射能測定値が検出された。県内外で外出制限、水の飲用制限や一部の野菜の出荷制限などの措置が取られ、国民の生活を不安に陥れた。一方、福島県から来たと言ったら宿泊を断られた、食品衛生法上の暫定規制値を下回り、出荷制限されていない野菜や果物の価格まで暴落もしくは返品を受けるなど、いわゆる風評被害が広まった。

本町の環境放射能測定値 0.2 μ シーベルト毎時

県では、県内の各市町村で空気中の放射線量を測定し、環境放射能測定値として公表している。その結果、本町の値は4月4日現在で0.20マイクローシーベルト/毎時(以下 μ Sv/h)。原発事故の前に会津若松市で測定されていた数値の平均が0.05 μ Sv/hであることを考えると、単純計算で4倍になっている。わたしたちは普通に生活する中で、年間2400 μ Sv/hの放射線を浴

びていると言われている(世界平均)。原発事故前の会津若松市の数値で計算すると、

0.05 \times 24時間 \times 365日で
438 μ Sv/hとなり、この地域は世界平均をかなり下回っていたことになる。今回、本町で計測された数値は、その4倍で1752 μ Sv/hとなるが、それでも世界の平均を下回る数値だ。

しかも、この数字は24時間、ずっと屋外で放射線を浴びた計算の数値。通常、屋内に入ると放射線量は5から10分の1程度になると言われているので、1日の半分12時間を外で過ごしたとしても1051 μ Sv/h。このため、本町の数値は問題がないと言われている。

胃のX線検査1回で600 μ Sv/h、CTスキャン1回で6900 μ Sv/h被曝すると言われているので、この数値が、いかに低いものであるかが分かる。

それでも通常の4倍は怖いという人は、外出から帰ったら服のほこりを落とすように払うなど、花粉症の人が花粉に気をつけるような感じの対策で対応してほしい。

県が水や農作物も測定 町内産の安全を確認

厚生労働省は、原子力安全委員会の示した指標値を食品衛生法上の暫

風評被害の解消に全力で取り組む 町の情報を信じて行動してほしい

このたびの東日本大震災では、町内も地震による被害を受けたが、総力を挙げて取り組んだ結果、ほぼ仮復旧が済んだ。これから本復旧に向けて頑張るとともに、避難者への支援も継続していく。猪苗代に避難した人との縁とぎずなを大事にしていきたい。

原発事故の風評被害による町内の経済の落ち込みは大変なものだが、こういう時こそみんなが助け合わなければならない。

過度の委縮は経済を停滞させる。町内の農業、観光業、小売業や飲食店などを応援するためにも、地産地消を勧め、町内産のものを積極的に購入したり、食事をしたりするなど、町内でお金を使うこと

が町民による町民に対する支援だ。町の活力がそがれることは、絶対に避けなければならないので、行政だけ、町民だけではなく、官民が一体となり、全力を挙げてその解消に努めるべきだ。

そのためには、まずは情報発信が重要だ。正確な情報を把握し、公表して、この町は放射能の影響がない場所であるということを、町内外にしっかりと周知していかなければならない。

本町の環境放射能測定値は、十分な安全圏。おそらくこれからも大丈夫だと予想できる。マスコミではいろいろな情報が飛び交っているが、町が発信する情報を信じて行動してほしい。



猪苗代町災害対策本部長

津金 要雄 町長

- 災害発生時、町では迅速かつ的確な災害対策を取るため、災害対策本部を設置する。今回の震災でも、町の最高責任者である町長が本部長となり、対策に当たっている

起こりうる 災害に備えて

教訓とするには、あまりにも犠牲が多すぎた今回の大震災
私たちはこの大震災から何を学ぶべきなのか
災害への心構えや町の防災体制について、
町の防災担当、渡部克宏主査に聞いた。



日ごろの訓練がいざという時に命を守る
(写真は、昨年9月 緑小学校の防災訓練)

今回の東日本大震災は、あまりにも広範囲に被害が及んだため、高速道路、電車や船便までもがストップし、他県からの援助物資がなかなか届かない状態になりました。このため、町水防センターに備えていた災害用備蓄品を全て出しても足りないという事態に陥りました。また、原発事故やガソリンなどの燃料不足が拍車をかけ、町全体が危機感に包まれたように感じました。

想定外の大地震は、家屋、道路や上下水道などに甚大な被害を及ぼしましたが、町内の人的被害が軽傷者1人にとどまったことは幸いでした。これは、地震が発生したときに、どう行動すればいいのかという基本的なことを、皆さんが知っていたから

ではないでしょうか。また、消防団や地域の皆さんが、住民の安全確保のために、素早く行動したことも大きな要因であると考えられます。

消防団は、地震発生直後から区域内をパトロールし、危険箇所の把握や夜間の警備などを実施しました。町婦人消防連絡協議会は、避難者への炊き出しを担当しました。行政区域長は、地区住民の安否確認や避難所への誘導などでリーダーシップを発揮しました。自分の家族や家が心配であるにもかかわらず、地区住民のために献身的に活動する姿に、頼もしさを感じています。今後もこれらの組織などと連携し、一日も早い復興と災害に強いまちづくりを目指していきます。

今回の東日本大震災の経験を踏まえ、今後の防災体制のあり方につい



町総務課 防災担当 渡部 克宏 主査

●昨年度から消防・防災を担当
平成16年に起こった新潟中越地震の際にはボランティアとして参加した経験を持つ

て、幾つかの改善点も見えました。

同時広域的な大規模災害で、本町も震度6弱の地震に襲われたわけですが、ライフラインである電気や水道の被害は、町内の一部にとどまりました。しかし、同時に起こった燃料不足は、給水車、復旧作業に向かう事業者、町民の皆さんの避難や日常生活にも影響しました。もし、停電や断水が全町に及んでいたら、そのことを想定した上で、一刻も早くライフラインを復旧させる体制づくりを考えなければいけないと感じました。

想定外の規模の津波や原発事故の被害で、本町も多くの避難者を受け入れることになりました。大規模災害の場合、こうした被災地が被災地を助けるという事態も起こります。食糧や毛布など、備蓄品の数も想定

自分たちは安全だと過信せず、 危機感を持つことが大事

地震が起こったときにまずすること。それは、テーブルや机などの下に、素早く身を隠すことです。

以前は「地震になったら、まず火を消せ」と言われていました。しかし、家庭内ではお湯や油などを火にかけている可能性があり、地震の最中にこれらに近づくことは、やけどの可能性があり大変危険です。また、地震後すぐに屋外に飛び出すと、落下物などの危険があります。身を隠しながら落ち着きを取り戻し、状況を把握する。そして、冷静な判断に基づいた行動をすることが大切です。

道路の寸断などで集落が孤立した場合、消防員もすぐに救助に向かうことはできません。そんな

時には、自分の身は自分で守る。もしくは地域が協力して守ることが重要です。

非常用持出袋には、最低3日分の食料と水を準備するとよいとされています。薬を服用している人は薬を、赤ちゃんがいればおむつを入れておくなど、家族によって準備品を変えることも必要です。各地区には消防団もありますが、それだけに頼ることはできません。近所の人と助け合える関係を築いておくなど、自主防災組織の確立も重要だと思います。

自分たちは安全、この家は大丈夫と過信せず、非常時に備えて危機感を持つことが、皆さんの安全を守ることにつながるのです。



会津若松消防署長 (前猪苗代消防署長)

雪野 耕一 さん

【猪苗代消防署】職員31人
ポンプ車2台、救急車2台、
指揮車1台、広報車1台を保有。
町民の安全を守るため、
日夜緊急事態に備えている

し直さなければなりません。

また、広範囲に及ぶ災害の場合は、防災協定を結んでいる市町村も同時に被災する可能性があります。本町が協定を結んでいる東京都豊島区では大きな災害も無く、物資援助などで最大限の協力をいただきましたが、今後は豊島区のような協定市町村を増やしていく必要があると考えています。

放射能の問題については、現在のところ心配は要りませんが、私たちが町民の皆さんの命を預かっているという認識で、注意深く監視を続けていきます。

町では、本年度から全国瞬時警報システム(J・A・L・E・A・R・T)を整備しました。これは緊急地震速報やミサイル・テロ情報、気象警報の発令を、防災無線で自動的に放送するシステムです。この情報を災害への備えとして考えていただければと思います。防災無線を聞き、迅速に対応してもらうためにも、難聴地区への対策は必須事項です。

想定範囲内であれば、災害ではなく事故の範囲。自然の脅威は、時に想定を超えてしまうから大災害になります。防災計画をより現実的なものに更新するとともに、町民の皆さんへの周知を徹底し、一人一人の防災意識を高めていただく。皆さんの命を守るためには、それ以外にな

取材を終えて

東日本大震災は、未曾有の大災害だった。本町で家が倒壊するような地震はまれだったが、今回の地震は違った。倒壊家屋は多数、迂回路はあったが、道路も寸断されるなど、多くの人々が今までに経験したことのない災害だったのではないだろうか。あの時、もし家屋に閉じ込められた人がいたら、道路が寸断され、孤立した集落があったら、救助が来るまでに助け合えたのは、隣近所や地域の人たちだけだろう。

大規模な自然災害は避けられない。大切なのは災害が起こってからどうするかだ。まずは自力で生き延びる。そして協力し合う。自分自身や家族を守る備えをする防災意識と、人と助け合う大切さやきずなを紡ぐ大切さを忘れない「防災」意識が必要だと強く感じた。

3月11日 午後2時46分―。

このとき私たちは何を思い、どう行動したか。これからはどうしなければいけないと思ったかを忘れてはいけない。

特集 3・11 14:46 終わり

一般会計予算は 71 億 6,400 万円

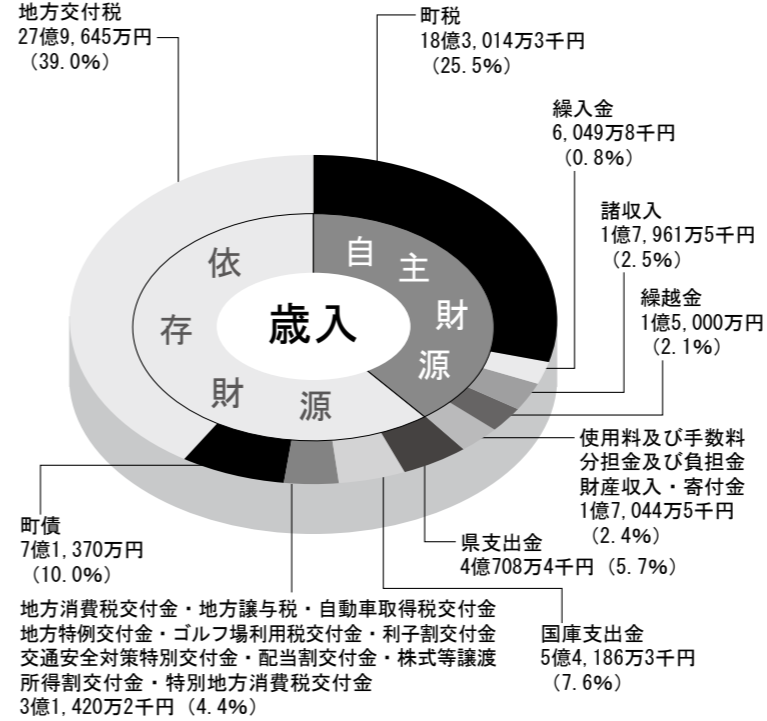
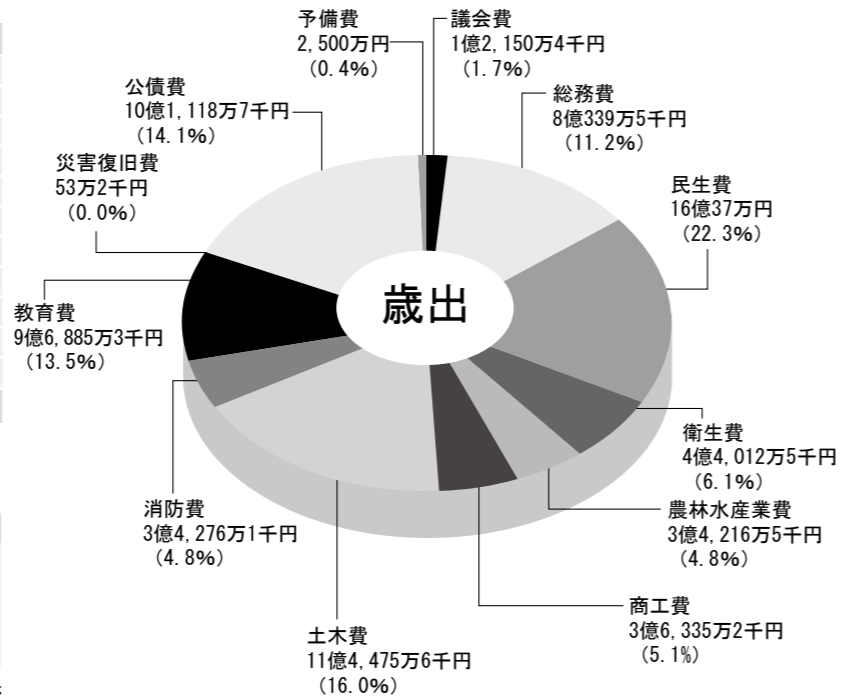
特別会計予算

会計名	予算額	対前年度比
猪苗代地区財産区	1,024万6千円	△6.4%
翁島地区財産区	215万5千円	△37.5%
長瀬地区財産区	2,270万7千円	3.9%
吾妻地区財産区	828万円	△9.2%
国民健康保険	17億154万8千円	△1.6%
後期高齢者医療	1億5,772万1千円	△2.7%
介護保険	13億4,624万5千円	6.3%
下水道事業	7億562万円	6.3%
特定環境保全下水道事業	1億4,418万4千円	21.3%
農業集落排水事業	1億6,590万3千円	△46.9%
簡易水道事業	1億2,535万2千円	23.7%
合 計	43億8,996万1千円	△0.2%

水道事業会計予算

区分	予算額	区分	予算額
収入	3億1,468万円 (対前年度比0.0%)	収入	260万円 (対前年度比82.3%)
支出	2億8,629万円 (対前年度比2.5%)	支出	1億374万円 (対前年度比△37.1%)

※資本的収支の不足額1億114万円は、当年度損益勘定留保資金などから補てんします。



町税の内訳

区分	予算額	対前年度比
町民税	5億258万円	△7.0%
固定資産税	11億4,668万7千円	△1.9%
軽自動車税	3,359万6千円	△0.1%
町たばこ税	1億1,449万8千円	1.8%
特別土地保有税	1万円	△97.5%
入湯税	3,277万2千円	△9.6%
合 計	18億3,014万3千円	△1.8%

病院事業会計予算

区分	予算額	区分	予算額
収入	5,812万3千円 (前年度額 5,313万4千円)	収入	1億3,931万円 (同 1億5,281万円)
支出	6,259万3千円 (前年度額 5,313万4千円)	支出	2億3,494万2千円 (同 1億5,281万円)

※収益的収支の不足額447万円および資本的収支の不足額1億9,563万2千円は、基金から補てんします。

一般会計

歳入

歳入は大きく「自主財源」と「依存財源」の二つに分けられます。

「自主財源」とは、町が自主的に確保することができる財源のことです。町の主要な財源の一つである町税をはじめとして、使用料、手数料、分担金、負担金や財産収入などが挙げられます。

一般会計の主要な財源の一つである町税は十八億三千四百三十三千円（前年度比六千六百三十二万一千円（の減）で歳入全体の25・5%を占めています（内訳は上の表のとおり）。このほか、財政調整基金などからの繰入金が六千四百九十八千円（前年度比五千三百七十九万二千円（の増）、雑収入などの諸収入が一億七千九百六十一万五千円（

健全で安定した町の財政を目指した二十三年度の予算が決まりました。一般会計当初予算の総額は、七十一億六千四百万円と、前年度に比べ四億五千万円（6・7%）増加しています。全国的に厳しい財政状況の中、予算編成にあたっては財源を効率的に配分し、さまざまな施策を進めます。二十三年度予算のあらましについてお知らせします。

%を占めています。

一般会計

歳出

歳出では、厳しい財政状況の中、限られた財源の効率的な活用に努めます。行財政改革の推進により事務事業を徹底的に見直し、経費の節減・合理化を進める一方、重点施策を選別して編成しました。

歳出の22・3%を占める民生費は、社会福祉や児童福祉などに使われる費用で、十六億三十七万五千円（前年度比一億六千八百七十八千円（の増））となっています。これに続くのが、町道や町営住宅の整備・管理、除雪などの費用のための土木費で、全体の16%、十一億四千四百七十五万六千円（前年度比三千二十九万六千円（の増））。

その次に続くのが、借入金償還のための公債費で、全体の14・1%、予算額は十億一千百八十八万七千円（前年度比七千八百四十九千円（の減））以下、幼稚園、小・中学校、生涯学習やスポーツ振興などに使われる教育費が、全体の

前年度からの繰越金が一億五千万円など、自主財源の合計は二十三億九千七十七万一千円（歳入全体の33・4%）となっています。

「依存財源」とは、国や県から交付される財源のことです。地方交付税、国庫支出金、県支出金、町債などが挙げられます。

依存財源では、全体の39%を占める地方交付税が、二十七億九千六百四十五万五千円（前年度比一億九千万五千円（の増）、町債は認定こども園建設事業などを見込み、七億一千三百七十万円（前年度比一億一千五百九十万円の増）となりました。

なお、町債の借入れに当たっては、交付税措置のある有利なものを選ぶなど、負担が軽減できるように努めました。このほか、国・県の負担金、補助金や地方消費税交付金など、依存財源の合計は四十七億七千三百二十九万九千円となり歳入全体の66・6%

13・5%、九億六千八百八十五万三千円（前年度比二億七千六百九十二万八千円（の増））。町の全般的な管理に使われる総務費が全体の11・2%、八億三百三十九万五千円（前年度比八千九百四十八万八千円（の減））。

そのほか衛生費が、四億四千二百二十五千円（前年度比二千六百九十一万九千円（の増））。商工費が、三億六千三百三十五万二千円（前年度比千百六十七万五千円（の増））。消防費が三億四千二百七十六万一千円（前年度比二千六百八十九万九千円（の増））。

農林水産業費が、三億四千二百六十六万五千円（前年度比三千九百八十九万二千円（の増））。議会費が一億二千五百四十万四千円（前年度比二千九百六十五万九千円（の増））などとなっています。

二十三年度の主な事業

- ▽認定子ども園整備事業費 二億七千三百七十八万七千円
- ▽社会資本整備総合交付金事業費 七千六百四十三万二千円
- ▽鶴峰住宅建設事業費 七千五百八十八万一千円

E

lementary school



写真上 在校生や父母などが間近で見つめる中、卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました
写真下 本名校長から卒業証書を手渡される上妻悠人さん(中央)



数々の思い出を胸に巣立ち

町内6小学校の卒業証書授与式は3月23日、各小学校で挙行されました。千里小学校(本名幸平校長)では男子12人、女子14人の卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。

東北地方太平洋沖地震の被災者に配慮し、簡素化した卒業式となりましたが、本名校長は「人は助け合ってこそ生きていける。こういう時こそ助け合わなければならない。皆さんは、お父さんやお母さんなど多くの人の生きる希望。幸多かれ、道開かれと願う」と力強いはなむけの言葉を贈りました。

卒業生らが6年間の思い出を振り返った後「たくさんの思い出を胸に抱いて、この校舎を巣立ちます」と別れの言葉を述べると、在校生からは「皆さんが築いた千里小学校の伝統を受け継いで頑張ります。ありがとうございました」とお礼の言葉が贈られました。

N

ursery school



写真上 小学生になっても、幼年消防隊で学んだことを忘れないでほしいと期待書が手渡されました
写真下 この日満了を迎えた7人の園児たち。それぞれ町内の小学校に進学します

小学校に行っても頑張るぞ

町内3保育所の満了式は3月25日、各保育所で挙行され、猪苗代保育所では男女合わせて7人が通い慣れた園舎にお別れをしました。

榊原源法所長が保育証書を手渡した後「最初は泣きながら登所していた皆さんが、こんなにたくましく成長したことをうれしく思います。大きな地震があった年の満了式を思い出して、社会に貢献できるような大人になってください」とあいさつ。猪苗代消防署の五十嵐聖仁総務係長は「幼年消防隊として学んだ火の用心を忘れず、小学校に行っても頑張ってください」と話し、期待書を手渡しました。

続いて、猪苗代小学校の久米本哲夫校長や主任児童委員の阿部重孝さんらが「小学校では先生、お兄さんやお姉さんが待っています。病気になるないように、元気に過ごして小学校に登校してください」と祝辞を述べました。

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上 在校生、教職員や父母からの大きな拍手の中を退場する卒業生たち。3年間の思い出が頭をよぎり、涙がふれる
写真下 卒業生を代表して力強く答辞を述べた菊地さん



3年間の思い出胸に旅立つ

町内3中学校の卒業証書授与式は3月11日、各校で開かれました。吾妻中学校(矢澤良伸校長)では、24人の卒業生が勉強や部活動に全力で取り組んだ思い出の校舎を後にしました。

矢澤校長は「人は人との関わりの中で生きている。社会の中で人とのつながりを大切にしながら、吾妻中卒業生としての自信と誇りを持って生きていってほしい」と式辞。穴澤周一教育委員の告辞に続き、鈴木幹男副町長、山田長平副議長、齋藤裕二PTA会長らが祝辞を述べました。

在校生代表の神末由華さんが「先輩たちの築いた伝統と実績を引き継ぐとともに、新しい伝統を作っていく」と送辞を述べた後、卒業生代表の菊地公康さんが「進む先は違って僕たちのきずなは永遠。3年間で学んだことと仲間とのきずなを支えにして困難を乗り越えていく」と力強く決意を述べました。



写真上 式の最後、退場する園児を紙吹雪で送る父母ら。「おめでとう」の言葉に、園児も笑顔で答えました
写真下 820人目の卒園児として、後藤園長から修了証書を受け取る渡部鈴穂ちゃん

長瀬幼稚園で最後の卒園式

町内6幼稚園では3月18日、一斉に修了証書授与式が挙行されました。来年から休園となる長瀬幼稚園では、男女合わせて4人が卒園を迎えました。

園児らに修了証書が手渡された後、後藤新一園長が「幼稚園で習ったことを思い出して、楽しい小学校生活を過ごしてください。皆さんが心豊かに成長することを祈っています」と式辞。瀧口直美PTA会長が「小学校では、友だちと仲良く元気に過ごしてください」とお祝いの言葉を贈りました。

同園の卒園児であった渡部孝広さんは「自分が通った幼稚園がなくなってしまうのは、少し寂しい気もしますが、子どもも通園し、無事に卒園できたことはうれしいです」と話しました。

昭和42年の開園から820人の卒園児を送り出してきた長瀬幼稚園。その44年の歴史に幕が下ろされました。

J

unior high school



保健だより

Health information

毎日を、元気で明るく過ごせるように

健康診査の申し込みを

健康診査の申し込みが始まります

23年度の町特定健康診査、各種がん検診や結核検診は、6月20日から7月13日までの土日を除く18日間にわたって実施されます。

町では、受診者の数を把握し、総合健診を実施する時の地区の割り当てを決めるため、皆さんに各種健康診査の申し込みをお願いします。4月15日以降、保健協力員さんが各世帯に「各種検診申し込み調査票」を配布します。各世帯で対象になる20歳以上の女性と35歳以上の男性は、それぞれ各検診の申し込みの欄に記入をお願いします。

【記入例】


・「勤め先」

勤め先で特定健康診査同様に、ほかのがん検診などを実施している場合・「病院で受ける」

何らかの治療のため、通院中もしくは継続して

平成23年度 各種検診申し込み調査票

猪苗代町役場 保健福祉課 健康づくり

※ 調査対象者は、20歳以上の女性、35歳以上の男性です。
また、 になっている場合は、今年度対象外の検診です。
※ この調査をもとに各種検診票をお送りしますので、正確に記入してください。
※ 各検診欄の1～5の中から1つを選んで○印をつけてください。（喀痰検診は1か2）
※ 記入もれの場合は町の検診の対象者として検診票をお送りします。
※ 受診者の検診料一部負担があります。

行政区	840001
世帯主名	健康 太郎
住所	猪苗代町城南100番地

受診者負担金	500円	200円	200円	500円	集団: 500円 病院: 1,000円	30～39歳: 1,000円 40～49歳: 1,500円 50～79歳: 1,000円	4
氏名	胃がん(バリウム)検診 対象者: 35歳以上 ※手術した方は町の検診の対象者とはなりません	大腸がん検診 (便潜血検査) 対象者: 40歳以上	胸部レントゲン 対象者: 40歳以上	喀痰検診 対象者: 50歳以上で 喫煙指数が600以上の方に 容器をお送りします	子宮がん検診 対象者: 20歳から79歳の女性	乳がん検診 対象者: 30歳から79歳の 昨年検診を受けなかった女性	前立腺 (血)
1. 健康 太郎	1. 町の検診 2. 勤め先 3. 病院で受ける 4. 不在 5. 受けない	1. 町の検診 2. 勤め先 3. 病院で受ける 4. 不在 5. 受けない	1. 町の検診 2. 勤め先 3. 病院で受ける 4. 不在 5. 受けない	1. 吸う(過去吸っていた) 1日の本数()本 ×吸った年数()年 =喫煙指数() 2. 吸わない	1. 町の検診(集団・病院) 2. 勤め先 3. 個人で病院で受ける 4. 不在 5. 受けない	1. 町の検診 2. 勤め先 3. 個人で病院で受ける 4. 不在 5. 受けない	1. 町の検診 2. 勤め先 3. 病院で受ける 4. 不在 5. 受けない
昭和40年4月4日	46						
1000000001	男性						

【記入例】各種検診申し込み調査票の一部

薬を処方されている人や、長期入院・入所中の人や、長期出張中の人

以前受けたまま、しばらく受けていないという人は、ぜひ「町の検診」に○をつけましょう。

皆さんの記入に基づき、6月上旬にそれぞれの健診票や容器などをお配りします。各項目もれなく記入し、4月26日までに、保健協力員さんに届けてください。わかりにくい点や不明な点などがありましたら、保健協力員さんや役場保健師に問い合わせてください。

※これまでは、年に1度どこかの健診機関で健康診査やそれに相当する検査を受けた人や治療中の人は、町で実施する健診は受けなくてもよいとされてきました。しかし、20年からは、40歳以上74歳までの人は全員、自分の加入している保険者が

実施する特定健康診査を受けることになっていきます(治療中の人も含む)。

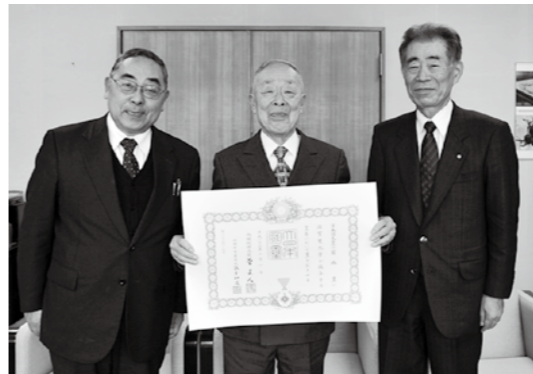
社会保険などの被保険者は、それぞれ加入している保険者に問い合わせ、ぜひ受診するようにお願いします。ただし、社会保険の被扶養者は、保険者が発行する「受診券」があれば、町で実施する総合健診を受けられます(ただし、社会保険によりません)。

町の特定健診では、疾病の早期発見・早期治療のために、これまで医師の判断が必要とされた詳細健診の「心電図・貧血・眼底」検査とクレアチニン検査を全員に実施します。町内在住の社会保険被扶養者で、受診券で町の健診を受ける人は、これらの検査を受けることができますので、早めにご手続きをお願いします。

▼問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62)2115

菊地 豊さんに勲記を伝達

教育者人生をたたえて瑞宝双光章



左から土屋重憲教育長、菊地さん、津金町長

菊地豊さん(半坂)への叙位・叙勲伝達式は2月25日、町役場で挙行され、津金要雄町長から菊地さんに内閣総理大臣名の勲記が伝達されました。菊地さんは、昭和25年に教員として勤務、以来33年にわたり教育者として子どもたちの健全育成に努めました。今回の受章はその功績が認められたものです。

津金町長が「受章は先生の努力の成果。これからも本町の教育行政に寄与していただきたい」とあいさつ。菊地さんは「素晴らしい賞をいただいたのは、皆さまのご指導とご鞭撻のおかげ」とお礼の言葉を述べました。

地域の安全は俺たちが守る

町消防団辞令交付式が開催される



土屋団長から辞令を受け取る鈴木吉信第2分団長

町消防団の辞令交付式は4月3日、役場正庁で開催され、198人の消防団員に辞令が交付されました。

土屋孝彦団長が「このたびの東日本大震災では、多くの消防団員が被災地で頑張っている。皆さんも常日ごろから消防団員はどうあるべきかを考えながら行動してほしい」とあいさつし、各分団の代表者に辞令を手渡しました。

新入団員を代表し、黒澤裕人さん(第1分団)が「良心に従って消防の義務を遂行する」と宣誓、土屋団長から消防団の法被を受け取りました。

町民の皆さんの新しい足に

町乗合タクシーの運行がスタート



見送りを受けながら市沢行きの第1便が出発しました

町乗合タクシー出発式は4月4日、町役場で催されました。

津金町長が「このタクシーの運行で、交通の便が悪い地区の皆さんが安心して生活できるようにしたい」、磐梯観光タクシー(株)の赤埴良一代表取締役が「1人でも多くの皆さんに乗っていただけるよう、3社で協力していく」とあいさつしました。

最初の乗客となった市沢地区の笠井ヨシイさんと黒澤善助さんは「今まではタクシーや町民バスを使っていたが、10分の1の値段で使えるのはありがたい。毎週1回くらいは町に行くので、これからも利用したい」と話しました。

生涯学習講座のご案内

【やさしいフォトレッスン】

デジタルカメラって、操作はとってもカンタン。でも「なぜか思うような写真が撮れない」とお悩みの皆さん。いろいろなパターンを練習しながら、上手に撮るコツをマスターしましょう。

◆期日：①5月18日 ②6月8日
③7月13日 ④9月7日
⑤10月5日 ⑥11月2日

◆時間：午前9時～正午
(水曜日/全6回)

◆定員：20人 ◆料金：材料費が必要です。



【オモシロ漢字教室】

漢字の成り立ちやその文字に秘められた意味、字がきれいに書けるコツなど、参加した皆さんの要望に沿って楽しく学習します。

◆期日：①6月10日 ②6月24日 ③7月8日
④7月22日 ⑤9月9日 ⑥9月30日
⑦10月14日 ⑧10月28日 ⑨11月11日
⑩11月25日

◆時間：午前10時～正午(金曜日/全10回)

◆定員：20人 ◆料金：材料費が必要です

【英会話教室】

アラン先生と一緒に、楽しく英語を勉強しましょう！

◆期日：①4月26日 ②5月10日 ③5月24日
④6月7日 ⑤6月21日 ⑥7月5日

◆時間：初級クラス(中学校英語程度)
午後6時30分～午後7時25分
中級クラス(高校英語程度)
午後7時35分～午後8時30分

◆定員：20人 ◆料金：無料

【お茶の子彩々^{さいさい}】

お茶の子とは、お茶に添えて出されるお菓子のこと。さいさいは、はやし言葉です。お茶の子がお腹にたまらないものであることから、手軽で簡単な様子を表します。気軽にお茶を楽しんでみませんか？

◆期日：①5月11日 ②5月25日 ③6月8日
④6月22日 ⑤7月6日 ⑥7月20日
⑦9月7日 ⑧9月28日 ⑨10月12日
⑩10月26日 ⑪11月9日 ⑫11月23日

◆時間：午後7時～午後8時30分(毎月2回、水曜日)

◆講師：茶道裏千家 熊倉宗久 先生 青木寛美 先生

◆定員：10人(初心者)

◆料金：毎回500円(材料費含む)

【一人で着物を着てみ隊】

「自分で浴衣や着物が着られたらいいな」という皆さん。まずは浴衣から挑戦してみましょう。

◆期日：①5月9日 ②5月16日 ③5月30日
④6月6日 ⑤6月13日 ⑥6月20日
⑦7月4日 ⑧7月11日 ⑨7月18日

◆時間：午後6時～午後8時30分(月曜日/全9回)

◆講師：装和着装協会講師 川井島子 先生

◆対象：着付に興味がある人 ◆料金：月1,000円

【親子リトミック教室】

リトミックってなぁに？ピアノのリズムで体を動かし、子どもたちの感性や集中力を養います。

◆期日：①5月25日 ②6月15日 ③7月27日
④8月24日 ⑤9月28日 ⑥10月26日
⑦11月30日 ⑧12月21日

◆時間：午前10時30分～午後0時30分
(水曜日/全8回)

◆対象：未就園の幼児と保護者(25組) ◆料金：無料

【こどもクッキング～】

簡単なお菓子や料理づくりに挑戦しよう。おうちの人もきっとビックリするよ。

◆期日：①5月21日 ②6月18日 ③7月16日
④9月17日 ⑤10月15日 ⑥11月19日
⑦1月21日 ⑧2月18日

◆時間：午前10時～正午(土曜日)

◆対象：小学生20人 ◆料金：1回100円

【こども英会話教室】

アルファベットや簡単な会話を楽しみながら、アラン先生とお友達になろう。

◆期日：①4月27日 ②5月11日 ③5月25日
④6月8日 ⑤6月22日 ⑥7月6日

◆時間：午後6時30分～午後7時(水曜日/全6回)

◆対象：小学生以下の子ども20人程度 ◆料金：無料

【すくすくファミリー】

お父さんやお母さんと一緒に、色々なことに挑戦してみよう。

◆期日：①5月2日 ②6月10日 ③7月8日
④8月12日 ⑤9月13日 ⑥10月7日
⑦12月9日 ⑧1月13日

◆時間：午前10時～正午

◆対象：未就園の幼児と保護者(20組)

◆料金：無料

県教育委員会からのお知らせ

■未登録の鉄砲・刀剣類を発見した人は登録を受けてください

1. 未登録の銃砲刀剣類を発見した場合、次の手続きをしてください。なお、登録審査会の開催日は下記のとおりです。

(1) 発見届け出 未登録の銃砲刀剣類を発見したときは、まず最寄りの警察署に発見届を提出してください。

(2) 登録の手続きの案内 発見届けが済むと、県教育委員会(県教育長文化課)から発見届出者に登録審査会の案内があります。

(3) 登録審査会 登録審査会の案内を受け取ったら、速やかに登録審査会に出席し、審査を受けてください。登録審査会には次のものを持参してください。

ア 発見届をした銃砲刀剣類
イ 銃砲刀剣類発見届出済証(警察署から交付されたもの)
ウ 登録申請書(県教育委員会から送付されたもの)
エ 印鑑
オ 登録審査手数料(福島県収入証紙で納入)
1件銃砲刀剣類1振または1丁につき6,300円分の福島県収入証紙。

※福島県収入証紙は、当日会場となる合同庁舎の売店で取り扱っています。

カ 委任状(代理人に依頼する場合)

2. 登録銃砲刀剣などの所有者が代わった場合や登録証を紛失した場合は、次の手続きをしてください。

(1) 所有者が変わった場合 新しい所有者が、登録証を発行した都道府県教育委員会に、20日以内に所有者変更届出書を提出してください。

(2) 登録証を紛失した場合 遺失物届を所管の警察署に提出してから、登録証を発行した都道府県教育委員会に登録証再交付申請書を提出し、登録審査会で審査を受けてください。

なお、紛失した状況により警察署は遺失物届の提出を求めないこともあります。(福島県以外で登録した銃砲刀剣類でも、審査は県内で受けることになります。)

※再交付手数料(登録証を発行した都道府県の収入証紙で納入) 福島県の場合は、1件(銃砲刀剣類1振または1丁)につき3,500円分の福島県収入証紙。

(3) 貸付または保管を委託する場合 登録証を発行した都道府県教育委員会に、貸付又は保管委託届出書を20日以内に提出してください。また、貸付などが終了した場合は、速やかに貸付又は保管委託終了届出書を提出してください。

※注意事項 登録、所有者変更や再交付申請などの手続きを怠ると、不法所持になり罰則を受けることがありますので、速やかに手続きをしてください。

平成23年度銃砲刀剣類登録審査会日程表

第1回 期日：5月12日(木)
会場：いわき合同庁舎 南分庁舎3階大会議室
※刀剣類のみ

第2回 期日：7月7日(木)
会場：郡山市労働福祉会館2階中ホール

第3回 期日：9月15日(木)
会場：会津若松市合同庁舎2階大会議室
※刀剣類のみ

第4回 期日：12月15日(木)
会場：福島県庁会議室
※刀剣類のみ

第5回 期日：24年2月23日(木)
会場：郡山市労働福祉会館2階中ホール

※審査会の時間は午前10時～正午、午後1時～午後3時までです。また、銃砲類の登録審査については第2回、第5回ですのでお間違いないようにお願いします。

◆問い合わせ先：県文化財課 ☎024(521)7787

教育委員会コラム

第十二回

当町の英語指導助手、アラン先生が、ある日、宮崎アニメの代表的作品「となりのトトロ」をパソコンで見ている。その日の夜、学びいなで幼児から小学校低学年児童を対象にした英会話教室がある。そこでこの作品を知ったのか、誰から紹介されたのかなど聞いてみた。すると、意外なことにスコットランドにいる時からすでに知っていた、ということだった。アラン先生の故郷は、スコットランドのアバディーンという町である。アバディーンは、長崎のグラバー邸で有名なトーマス・グラバーの出身地で、スコットランド北東部の工業と漁業の町である。日本のアニメがそこまで進出していることを知りちよっと嬉しい気がした。

インターネットのおかげでもあるが、日本のアニメはアメリカ、韓国、中国、ヨーロッパ、東南アジアやオーストラリアなどでも見られており、まさに世界を席巻している。

最近のわが国と諸外国との国際関係は、対ロシア、東アジア外交などを見る限り、なかなか容易ではない印象であるが、アニメ、漫画や演歌などは、世界中の人々の心をとらえ流行っているのである。

アラン先生は、来日して9カ月足らずだが、大分日本語を覚えたようだ。生徒諸君も負けないで英語を覚えてほしい。

(土屋)

人事

町職員の人事異動を
お知らせします

町職員が4月1日付で異動しました。()内は旧職名。

退職【3月31日付】

▼田代剛(会計管理者兼会計室長) ▼佐藤正一郎(建設課長)
▼秦俊一郎(町民生活課主幹兼町民生活業務主任) ▼渡部文江(保健福祉課猪苗代保育所主任主査) ▼小池ケイ子(保健福祉課猪苗代保育所主任主査) ▼熊谷栄子(教育総務課長瀬幼稚園主任主査) ▼佐藤悦子(教育総務課緑小学校主任調理士) ▼矢野森タミ子(教育総務課猪苗代小学校主任調理士)

異動【4月1日付】

課長職
▼会計管理者兼会計室長(教育総務課主幹) 後藤新一▼建設課長(副町長事務取扱いとする)
課長補佐相当職
▼教育総務課翁島幼稚園主任主査(保健福祉課川桁保育所主任

主査) 星恵子▼教育総務課千里幼稚園主任主査(教育総務課猪苗代幼稚園主任主査) 五十嵐桂子

係長職

▼町民生活課町民生活業務主任(農林課主査) 鈴木善弘

係長相当職

▼保健福祉課猪苗代保育所主任保育士(保健福祉課中ノ沢保育所主任保育士) 小池知恵子▼保健福祉課猪苗代保育所主任保育士(教育総務課猪苗代幼稚園主任教諭) 橋本公子▼保健福祉課川桁保育所主任保育士(教育総務課猪苗代幼稚園主任教諭) 土屋恵子▼保健福祉課川桁保育所主任保育士(保健福祉課中ノ沢保育所主任保育士) 関谷香代▼農林課主査(保健福祉課主査) 古川いち子▼教育総務課主査(保健福祉課主査) 宇南山賢司▼教育総務課猪苗代幼稚園主任教諭(教育総務課千里幼稚園主任教諭) 渡部真理子

係員等

▼保健福祉課中ノ沢保育所保育士(保健福祉課川桁保育所保育士) 遠藤千恵▼保健福祉課猪苗代保育所主任調理士(保健福祉課中ノ沢保育所主任調理士) 長沢由美子▼保健福祉課中ノ沢保

の子どもと保護者 20組

(以前参加したことがある人は除きます)

▼開催日時

5月11日(水)、6月15日(水)、7月27日(水)、8月23日(火)、9月14日(水)の全5回

▼開催時間

午前10時から正午まで

▼会場

町農村環境改善センター

▼申込締め切り日

4月28日(木)

定員になり次第、締め切ります

▼申し込み・問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり業務

☎(62) 21115

税関係

固定資産税の減免制度
を紹介します

災害などで、課税対象となる固定資産が著しい被害を受けた場合、その被害状況に応じた割合で固定資産税を減免することができます。

1. 減免の対象となるもの

課税されている土地、家屋や償却資産で、損害の割合が、被害面積や評価額などの二割以上

のもの

※損害の割合は、実際にかかる修理費などで算出するものではありません。

【土地の例】

●地盤崩壊や大量の岩石などが流入した場合など

【家屋の例】

●倒壊、傾斜など

【償却資産の例】

●大きく破損したもの

2. 減免の対象にならないもの
損害の割合が、二割に満たないもの

【家屋の例】

●内壁材(クロス、塗り壁やタイルなど)、建具(戸枠、ガラス)、屋根材(瓦、トタンなど)の損傷など
●門、塀、カーポートなどの構築物

申請には、り災証明書や被害状況がわかる写真などが必要です(修理をする前に、必ず被害箇所の写真を撮っておいてください)。

なお、減免にならない場合や減免が決定するまでに時間がかかる場合があります。

減免が決定した場合、後日、税額を修正します。

詳しくは税務課に問い合わせてください。

育所主任調理士(保健福祉課猪苗代保育所主任調理士) 金子幸代▼教育総務課猪苗代幼稚園教諭(保健福祉課猪苗代保育所保育士) 本多理恵▼教育総務課千里幼稚園教諭(教育総務課みどり幼稚園教諭) 長沢淳子▼教育総務課猪苗代小学校主任調理士(教育総務課翁島小学校主任調理士) 長沼真知子

派遣

▼福島県後期高齢者広域連合(税務課主事) 飯山義隆

新採用

▼税務課主事 六戸裕之
▼保健福祉課栄養士 鈴木絢
▼保健福祉課保健師 遠藤純子
▼保健福祉課保健師 岡本なつみ

相談

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員の定例相談を実施します。定例相談は月1回第3水曜日に開催しています。相談は無料で秘密は厳守しますので、気軽に相談してください。

▼猪苗代町行政相談委員

▼申し込み・問い合わせ先
税務課 賦課業務
☎(62) 21113

掲示板

告示

- ・第19号「猪苗代都市計画道路事業3・4・2号猪苗代中央線の事業計画について」
- ・(建設課都市整備業務)
- ・第20号「天鏡台温泉地区自治会の告知事項変更について」
- ・(総務課行政管理業務)
- ・第21号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第22号「延滞金督促状の公示送達について」
- ・(税務課収納業務)
- ・第23号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第24号「配当計算書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第25号「猪苗代町公の施設の指定管理者の指定」
- ・(総務課行政管理業務)
- ・第26号「町道路線認定に関する告示」(建設課建設業務)
- ・第27号「町道路線変更に関する告示」(建設課建設業務)
- ・第28号「町道の区域の決定に



相談無料、秘密は厳守します。

募集

「ちびっこランド」で
一緒に遊ぼう

本町では、親子の遊びの教室「ちびっこランド」を前期と後期の2回に分けて開催しています。今回は、前期日程の参加者を募集します。子どもたちは友だちと思い切り遊ぶ場に、保護者の皆さんは情報交換やリフレッシュの場として楽しんでください。

▼対象

町内在住の2歳から4歳まで

公告

- ・第7号「土地価格等縦覧帳簿及び家屋価格等縦覧帳簿を縦覧する件」(税務課賦課業務)
 - ・第8号「インターネット公売による不動産等の最高価申込者決定公告(第9号)」
 - ・(税務課収納業務)
 - ・第9号「平成23年度公共下水道事業受益者負担金の賦課区域公示」(上下水道課下水道業務)
- ※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況
(平成23年3月31日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	猪苗代町	磐梯町	裏磐梯	計
平成23年	14	6	5	25
平成22年	27	10	1	38
増減	-13	-4	4	-13
増減率%	-48.1	-40.0	400	-34.2

町村別	猪苗代町	磐梯町	裏磐梯
罪種別	23年	22年	23年
窃盗犯計	13	22	6
空き巣			
金庫破り			
事務所荒らし			
出店荒らし			
倉庫荒らし			
侵入盗その他	1		1
置き引き		1	
車上ねらい	1	1	1
部品ねらい			
脱衣場ねらい	1	2	
自販機ねらい			
万引き	4	4	
職場ねらい		2	
さい銭盗			
畑荒らし			
スキー・スノーボード盗	7	4	2
非侵入盗その他		8	3
自動車盗			1
オートバイ盗			
自転車盗	1		
その他の乗り物盗			
暴行・傷害		1	
詐欺・横領		2	
遺失物等横領		1	
器物損壊	1	1	
その他の刑法犯			1
総計	14	27	6
増減	-13	-4	4

○県内において空き巣の被害が多発しています。
○外出の際には確実にカギを掛けて空き巣被害に遭わないように注意しましょう。

2 交通事故発生状況

死亡事故	0	0	0	0	0	0
増減	0		0		0	
人身事故	28	35	2	4	1	3
増減	-7		-2		-2	

◎4月は環境が変わる時期です。新しい通勤路を通る際には他の交通に気をつけて安全に通行しましょう。

お知らせ

被災者の皆さんの不安
わたしたちにご相談を

東北地方太平洋沖地震から1カ月が経過しましたが、被災した皆さんの中には「震災でローンの支払いができないがどうしたらよいか」「震災を理由に解雇された」「原発事故の風評被害は保障されるのか」などと深刻な法律問題を抱えている人が多数いらっしゃると思います。

県弁護士会では、被災した皆さんの相談を受け、法的支援をするため、被災者を対象に無料法律相談を実施しています。

●電話番号
☎ 024-534-1211
☎ 024-925-6511
☎ 0242-27-2522

●相談受付時間
平日だけ
午後2時～午後4時

電話がかかりにくい場合は、ほかの支援弁護士会などの電話相談を利用してください。
●日本弁護士連合会など
電話番号 ☎ 0120(366) 556
平日だけ 午前10時～午後3時
●新潟県弁護士会
電話番号 ☎ 025(222) 5533
平日だけ 午前10時～午後4時
●県弁護士会事務局
☎ 024(534) 2334

許さない！震災に便乗した悪徳商法に注意を

東北地方太平洋沖地震に便乗した悪質商法の被害が発生しています。住宅などを修理するときには、知合いの業者や町内の業者などに相談して、被害にあわないように注意しましょう。

【実際にあった事例】

- 「家屋の点検をしてあげる」と見知らぬ業者が訪れた。室内や屋根をただけで、契約もしていないのに「点検料として5万円払え」と請求された。
- 見知らぬ業者に「今すぐ修理が必要だ。すぐに工事をしたほうがよい」と強引に勧誘され、契約させられた。
- 「当面の生活費などを貸し出すので、返済保証金を入金してくれ」と保証金名目で入金させるが、貸し出しは実行されない。
- 「当社と被災家屋の修理契約をすれば、行政から補助金が出る」などと、うその勧誘をして、被災家屋などの修理契約を勧誘する。
- 「売上金の一部を震災の義援金にするので、商品を買ってほしい」と電話勧誘があった。

少しでも「おかしいな」「変だな」と思ったら、契約をする前に下記に相談してください。

●震災に関連する悪徳商法 110 番
☎ 0120-214-888
消費者ホットライン
☎ 0570-064-370

お知らせ

あらゆる法律トラブル
電話が解決の近道です

法テラスは、法的なトラブルを抱えた人に解決へのきっかけとなる情報やサービスを提供(無料)します。

そのほか、無料法律相談、犯罪被害者支援や裁判費用などの立て替えをする民事法律扶助業務(資力基準あり)なども実施しています。
※法テラスは、国が設立した公的な法人です。安心してご利用ください。

●コールセンター
☎ 0570-078374
●受付時間

平日 午前9時～午後9時
土曜日 午前9時～午後5時

●日本司法支援センター福島地方事務所(法テラス福島)
☎ 0503383-5540

地デジ放送視聴を希望する低所得世帯を支援

アナログ放送終了まであと4カ月を切りました。地上デジタル放送への対応はお済みですか。



余震が続いています。
テレビの転倒や落下などには十分気をつけてください。

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送をまだ視聴できない低所得世帯を支援しています。対象は、(1)生活保護世帯などでNHK放送受信料が全額免除の世帯(2)市町村民税が非課税の世帯です。

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
メッセージは削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口に応じ出してください。

町の人口

23年3月1日現在の現住人口

人口 15,732人
世帯数 4,923戸
出生 24人 転入 51人
死亡 48人 転出 27人

●固定資産税 1期分
●下水道使用料 4月分
今月の納期
(納期限5月2日)

編集後記

▼かつてないほどの大災害となった東日本大震災。本町では犠牲者は出なかったが、ほかの被災地では、多くの尊い命が失われた。そんな中、悲しみを乗り越え、復興に向けて歩き出した人々たちも大勢いる。そんな皆さんが「町が復興した」と感じる日まで、その頑張りを支えるには、息の長い支援が必要だ。ただ、これからは、これからは、とずっと応援し続けたいと思う。

このたびの東日本大震災で亡くなった皆さまのご冥福を心からお祈りします。

▼震災の直後から、役場の職員も非常事態。不眠不休で対応に当たる姿を頼もしく思った(一部を除く)。同時に、町民の皆さんもきつと同じなんだろうとエールを送りたくなった。まちの応援マガジンの紙面を通してそれを伝えられるよう、これからは全力で頑張りたいと思う。(大坂)



前を向いて 進もう

大震災の直後、
中央が裂けた道路。
復旧へ向かう第一歩として、
応急処置が施されました。

同じように、
私たちもほんの少しずつでは
ありますが、
復興に向けて歩き始めました。

どんなことにもくじけず、
何も恐れず、
前を向いて進もう。

復興後の、
輝かしい未来を信じて

食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No.167

春野菜のチーズ白あえ (生活習慣病予防)



【材料】4人分

グリーンアスパラガス 6本・菜の花 8本・ニンジン 1/3本・木綿豆腐 1/2丁・粉チーズ 大さじ2・白ごま 大さじ1/2・みりん 大さじ1/2・しょうゆ 小さじ1/4・塩 小さじ1/3

【作り方】

- ① アスパラガスと菜の花は2～3本の長さに、ニンジンは短冊切りにします。
- ② ①を茹でて、水気を切っておきます。
- ③ 水切りした木綿豆腐をすり鉢ですり、白ごま、粉チーズ、みりん、しょうゆ、塩の順に加えて滑らかになるまですり混ぜます。
- ④ ②と③を混ぜ合わせたら出来上がり。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 90^{キロカロリー}、タンパク質 7.4^{グラム}、脂質 3.5^{グラム}、カルシウム 142^{ミリグラム}、炭水化物 7.3^{グラム}、食物繊維 3.2^{グラム}、塩分相当量 0.6^{グラム}

■一口メモ■

食材は旬の時期が一番おいしく、免疫力も高めてくれます。菜の花のビタミンC含有量は野菜の中でもトップクラスで、体の抵抗力を高め、風邪などを予防するほか、貧血の予防にも効果があります。